



中木健二 ギグラ・カツアラヴァ デュオリサイタル

Kenji Nakagi Guigla Katsarava Duo Recital

〜 プログラム 〜

A.ペルト / フラトレス(チェロとピアノ編)

A.Pärt / Fratres for Cello and Piano

L.v.ベートーヴェン / チェロ・ソナタ 第4番 ハ長調 Op.102-1

L.v.Beethoven / Sonata n 4, op 102 n 1

L.v.ベートーヴェン / チェロ・ソナタ 第5番 ニ長調 Op.102-2

L.v.Beethoven / Sonata n 5, op 102 n 2

D.ショスタコーヴィチ / チェロ・ソナタ ニ短調 Op.40

D.Shostakovich / Sonata op 40

2026年10月17日(土)14時開演[13時30分開場]

東京オペラシティ リサイタルホール

〒163-1403 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワーB1F

(京王新線「初台」駅東口直結)

チケット 一般:5,000円 学生:2,000円(税込・全自由席)

※未就学児はご入場いただけません

チケット
お申込み

◎ 東京オペラシティチケットセンター ◎ チケットぴあ

TEL.03-5353-9999

Pコード 326636



◎ エムエムプランニング
チケット



【後援】在日ジョージア大使館 / 株式会社ヤマハミュージックジャパン 銀座店 / 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

【主催・問合せ先】エムエムプランニング 080-4689-3648 [10:00~19:00 (月~金曜日/年末年始・祝日除く)]



©塩澤秀樹

中木 健二
KENJI NAKAGI

チェリスト。ソリストおよび室内楽奏者として、独自の演奏活動を展開している。

愛知県出身。3歳より才能教育研究会にてチェロを始める。東京藝術大学を経て、パリ国立高等音楽院、スイス・ベルン芸術大学の両校を首席と特別賞をもって卒業。シエナ(イタリア)キジアーナ音楽院マスタークラスでA.メネセスのクラスを受講し、最優秀ディプロマを取得。

第5回ルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位、第1回Note et Bien 国際フランス音楽コンクールでグランプリ及びドビュッシー特別賞、ブレーズ特別賞を受賞するなど受賞多数。ソリスト、室内楽奏者として数々のオーケストラとの共演や音楽祭に参加。

レパートリーはバロックから近現代作品に至るまで多岐に渡り、これまでキングレコードよりCD「美しき夕暮れ」、「J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲全曲」(「レコード芸術」誌・特選盤)、「La Folia~狂気のチェロ~」(2024)をリリース。

弦楽三重奏団・アンサンブル「天下統一」(ヴァイオリン:長原幸太、ヴィオラ:鈴木康浩)を結成し定期的に演奏活動を行うなど、室内楽にも情熱を注いでいる。これまで共演したアーティストにはS.アッカルド、B.ジュランナ、A.メネセス、C.イヴァルデ、イP. ドゥヴァイヨン、E.エルサージュ、ミケランジェロ弦楽四重奏団が含まれる。

上山音楽祭「ル・シャトーかみのやま」音楽監督。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。第11回名古屋音楽ペンクラブ賞受賞。岡崎市教育功績者。

使用楽器は宗次コレクションより貸与されたヨーゼフ・ガールネリ(1700年)。

Thomastik Infeld社契約アーティスト。

東京藝術大学准教授。

Profile

Kenji Nakagi Quigla Katsarava Duo Recital



ギグラ・カツアラヴァ
GUIGLA KATSARAVA

トビリシ生まれのフランス=ジョージア出身のピアニスト。モスクワのチャイコフスキー音楽院にてレフ・ナウモフ教授のもと最高位の学位を取得。さらにワイマールのフランツ・リスト音楽大学でラザール・ベルマン教授、パリ国立高等音楽・舞踊学校でジェラルド・フレミー教授に師事し、ヨーロッパを代表する名教授のもとで研鑽を重ねた。

これまでにヨーロッパ各国をはじめ、旧ソ連地域、アメリカ、ブラジル、日本、ベトナム、中国、イスラエル、中東にてリサイタル、室内楽、オーケストラとの共演など幅広い演奏活動を展開。ミュンヘン・レジデンツ、東京オペラシティ、ハクジュホール、ヤマハホール、横浜みなとみらいホール、ベルリン・ドイツ銀行アトリウム、エルサレム音楽センター、サル・コルトー(パリ)、サラ・セシリア・メイレレス(リオデジャネイロ)、上海コンサートホール、リンカーン・センター(ニューヨーク)など世界各地の主要ホールに出演している。

また、ラジオ・フランス・モンペリエ、フラヌリー・ミュージカル(ランス)、ピアノ・ア・リオム、ピアノ・ピック、サン＝トメール音楽祭、ラ・ブレ修道院音楽祭、サン＝ユルサンヌ(スイス)、カルメル音楽祭(イスラエル)、ボンネヴィル室内楽音楽祭(アメリカ)など数多くの国際音楽祭に招かれている。

教育者としても国際的に高く評価され、パリのエコール・ノルマル音楽院にて20年にわたり教授を務め、2022年より東京音楽大学ピアノ科特任教授に就任。世界各国でマスタークラスを行い、主要大学に客員教授として招かれている。ラフマニノフ国際ピアノコンクール審査委員長を務めるなど国際コンクール審査員としても活躍し、2025年にはバランチヴァーゼ国際ピアノコンクール(クタイシ/ジョージア)においても審査委員長を務めた。2023年アジア音楽家協会名誉証書、2025年PTNA特別指導者賞を受賞。国際的に高い評価を受けている。